




平成5年 火事によるひがいのようす

(平成5年12月31日現在：棚倉消防署鮫川分署調べ)

	東白川	1年間に100㎡の家がやく13けん分もえたことになる。
	鮫川村	1年間に100㎡の家がやく3けん分もえたことになる。
	東白川	1人が死ぼう、1人がケガ
	鮫川村	死ぼう者、ケガ人なし
	東白川	ひがいの金がくは、8,501万円
	鮫川村	ひがいの金がくは、171万円

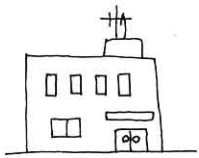
(2) はやく消すためのくふう

火事が発生すると、下の図のように、消防しょをはじめ病院やけいさつしょのほか、電力会社にも連らくが送られて消火活動がおこなわれます。

村内には消防しょ（鮫川村分しょ）の他に、7つの地区ごとに消防だんがそしきされ、消防しょとともに消火の活動にあたります。

火事のときの連らく図

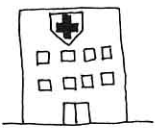
けいさつしょ



消防団



病院



消防^{しょ} 通信^{れい}指令室

分しょ



電力会社

